

景気ウォッチャー調査

平成12年2月調査結果

平成12年3月16日

経済企画庁調査局

調査の概要

1. 調査の目的

地域の景気に関連の深い動きを観察できる立場にある人々の協力を得て、地域ごとの景気動向を的確かつ迅速に把握し、景気動向判断の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の範囲

(1) 対象地域

北海道、東北、関東、東海、近畿、九州の6地域を対象とする。各地域に含まれる都道府県は以下のとおりである。なお、1月調査は関東を除く5地域を対象とした。

地域	都道府県
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、新潟
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	静岡、岐阜、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
全国	上記の北海道、東北、関東、東海、近畿、九州の計

(2) 調査客体

家計動向、企業動向、雇用等、代表的な経済活動項目の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の適当な職種の中から選定した1地域当たり100人、合計600人である。調査客体の地域別、分野別の構成については、別紙を参照のこと。

3. 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1)の理由
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3)の理由
- (参考) 景気の現状に対する判断（水準）

4. 調査期日及び期間

調査は毎月、当月時点であり、調査期間は毎月25日から翌月1日である。

5. 調査機関及び系統

経済企画庁が主管し、各調査対象地域に地域ごとの調査を実施する「地域別調査機関」を1か所ずつ設けるとともに、各地域別調査機関による地域ごとの調査結果を集計・分析する「取りまとめ調査機関」を1か所設け、これらの機関に本調査業務を委託して実施したものである。

(取りまとめ調査機関)	株式会社	東海総合研究所
(地域別調査機関)	北海道	株式会社 北海道二十一世紀総合研究所
	東北	財団法人 東北開発研究センター
	関東	財団法人 日本経済研究所
	東海	株式会社 東海総合研究所
	近畿	株式会社 大和銀総合研究所
	九州	財団法人 九州経済調査協会

6. 有効回答率

地域	調査客体	有効回答客体	有効回答率	地域	調査客体	有効回答客体	有効回答率
北海道	100人	99人	99.0%	東海	100人	98人	98.0%
東北	100人	100人	100.0%	近畿	100人	96人	96.0%
関東	100人	93人	93.0%	九州	100人	96人	96.0%
				全国	600人	582人	97.0%

目 次

概要	1
1．景気の現状に対する判断	2
(1) 全国の動向	2
(2) 各地域の動向	2
(3) 景気の現状に対する判断理由	3
2．景気の先行きに対する判断	11
(1) 全国の動向	11
(2) 各地域の動向	11
(3) 景気の先行きに対する判断理由	12
(参考) 現在の景気水準に対する判断	20
(別紙) 景気ウォッチャー(調査客体)の地域別・分野別構成	21

利用上の注意

1. 景気ウォッチャー調査は、本年より新規に行う調査であることから、当面の間、試行的に実施するものであり、今後、必要に応じ変更することもあり得る。
2. 分野別の表記における「家計動向関連」、「企業動向関連」、「雇用関連」は、各々家計動向関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断、企業動向関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断、雇用関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断を示す。なお、このうち雇用関連業種は、主として企業の求人動向に関連した業種である。
3. 表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、計と内訳は一致しない場合がある。

D I の算出方法

景気の現状、又は、景気の先行きに対する5段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え、この点数で回答結果の構成比(%)を加重平均して、D Iを算出した。

評価	良くなっている (良い)	やや良くなっている (やや良い)	変わらない (どちらともいえない)	やや悪くなっている (やや悪い)	悪くなっている (悪い)
点数	+ 1	+ 0 . 7 5	+ 0 . 5	+ 0 . 2 5	0

概 要

1. 景気の現状に対する判断

3か月前と比較しての景気の現状に対する判断は、以下のとおりであった。

図表A 全国における景気の現状判断D I

(DI)	平成12年		
	1月	2月	3月
合計	45.3	48.6	
家計動向関連	43.4	47.0	
企業動向関連	45.8	49.1	
雇用関連	58.9	60.7	

図表B 各地域における景気の現状判断D I

(DI)	平成12年		
	1月	2月	3月
全国	45.3	48.6	
北海道	45.3	47.0	
東北	42.3	46.8	
関東		47.0	
東海	51.8	53.8	
近畿	43.3	48.2	
九州	42.9	48.7	

2. 景気の先行きに対する判断

2～3か月先の景気の先行きに対する判断は、以下のとおりであった。

図表C 全国における景気の先行き判断D I

(DI)	平成12年		
	1月	2月	3月
合計	51.1	54.6	
家計動向関連	49.4	53.2	
企業動向関連	52.3	55.8	
雇用関連	61.9	62.8	

図表D 各地域における景気の先行き判断D I

(DI)	平成12年		
	1月	2月	3月
全国	51.1	54.6	
北海道	49.0	53.5	
東北	51.6	56.0	
関東		53.5	
東海	54.5	54.1	
近畿	51.1	54.7	
九州	49.2	55.5	

(備考) 全国のD Iについては、1月は関東を除く5地域の合計、2月は6地域の合計である。

1. 景気の現状に対する判断

3か月前と比較しての景気の現状に対する判断は、以下のとおりであった。

(1) 全国の動向

分野別の景気の現状判断D I

図表1-1-1 各分野における景気の現状判断D Iの推移表

(DI)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
合計	45.3	48.6				
家計動向関連	43.4	47.0				
小売関連	42.7	48.1				
飲食関連	44.0	40.8				
サービス関連	44.3	47.3				
企業動向関連	45.8	49.1				
雇用関連	58.9	60.7				

(備考) 1. 全国のD Iについては、1月は関東を除く5地域の合計、2月は6地域の合計である。

2. 5地域の合計による2月のD Iは、合計48.9、家計動向関連47.1、小売関連47.6、飲食関連41.1、サービス関連48.0、企業動向関連49.2、雇用関連63.1である。

(2) 各地域の動向

地域別の景気の現状判断D I (各分野計)

図表1-2-1 各地域における景気の現状判断D Iの推移表 (各分野計)

(DI)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	45.3	48.6				
北海道	45.3	47.0				
東北	42.3	46.8				
関東		47.0				
東海	51.8	53.8				
近畿	43.3	48.2				
九州	42.9	48.7				

地域別の景気の現状判断D I (家計動向関連)

図表1-2-2 各地域における景気の現状判断D Iの推移表 (家計動向関連)

(DI)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	43.4	47.0				
北海道	43.4	46.1				
東北	39.0	44.9				
関東		46.6				
東海	50.7	51.4				
近畿	41.7	46.5				
九州	41.2	46.4				

(3) 景気の現状に対する判断理由

景気の現状に対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

北海道

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	百貨店(売場主任)	・来店客数、レジ客数ともに、大きく伸びている。引き続き、ミセスブランドが好調である。
		百貨店(売場主任)	・ミセスの買上傾向が良くなってきている。
		乗用車販売店(経営者)	・本格的回復とはいえませんが、予想以上の受注をあげる新型車もみられており、試乗も増加している。
		一般レストラン(スタッフ)	・北海道は雪の影響が大きいかかわらず、2月半ばから、客数が増加してきた。また、客の話題も明るくなってきた。
	変わらない	旅行代理店(従業員)	・個人旅行需要がやや上向きである。近場の旅行商品が売れている。比較的高額の商品も売れている。
		商店街(代表者)	・単価は下がっているが、売上点数は増加しており、結果としてあまり変わっていない。
		百貨店(売場主任)	・必要な物しか買わない、まとめ買いがない状況が続いている。
		スーパー(企画担当)	・ササニシキ、コシヒカリといった高い銘柄が売れなくなっているので、良くなっているとは思えない。
		家電量販店(店長)	・小型商品は売れるが、大型商品が売れない。
		家電量販店(店員)	・売上点数は増加しているが、平均単価が低下している。また、チラシ、広告、イベントを行っても、思ったより良い結果が出ない。
		一般レストラン(スタッフ)	・客数は若干増加しているが、単価の低い20歳前後の若年層が増えており、売上増加に結びつかない。
		スナック(経営者)	・金融関係の新年会は例年2月だが、今年は2次会が少ない。 ・経費節減のせい、来店客数が少ない。
		タクシー運転手	・雪祭り等のイベントにもかかわらず、タクシー利用客が減少している。売上も伸びていない。
		美容室(経営者)	・客の話題の中で、売上が上がっている業種と下がっている業種とが半々くらいなので、全体として変わっていない。
	やや悪くなっている	スーパー(企画担当)	・大雪による客数の減少に加え、商品単価と買上点数の低下に歯止めがかからない。
		高級レストラン(スタッフ)	・値段の安いコース料理を頼む客が多い。
		タクシー運転手	・バス、地下鉄運行時間帯はタクシー利用を控える人が多くなっている。
		タクシー運転手	・深夜の繁華街で主婦が夫を自家用車で迎えに来る姿が多くみられるようになった。
		住宅販売会社(従業員)	・客数が減少している。
悪くなっている	コンビニ(エリア担当)	・価格の安い商品ばかりが売れ、関連買いをしない。	
	スナック(経営者)	・団体客が少なくなっているため、中年層の客が少ない。	
企業動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている		
	変わらない	食料品製造業(経営者)	・雪害、寒波の影響も多少あると思うが、物流が変わっていない。
		非製造業[建設機械リース](支店長)	・3か月前と比べると、客数は増加しているが、商談成立にはなかなか至らない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
	やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	・年明け後の荷動きが非常に低迷している。 ・在庫も各社膨らんでいる。
		輸送業（支店長）	・12月から1月にかけては、Y2K問題のために売上が減少したと思っていたが、2月に入っても回復しない。 ・本州、北海道間の物流量は、JRを除くと、大幅に減少している。
	悪くなっている	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・2月の北海道は例年売上が悪いが、経営者や客をみていると、資金繰りに困っている様子がない。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・客の話によると、「先の見通しが立たない」「仕事量が増えてこない」とのことで、これまでと変わらない状態が続いている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・大型店や百貨店の広告出稿が、引き続き良くない状況にある。
	やや悪くなっている		
	悪くなっている	-	-

東北

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	スーパー（従業員）	・客数が増えてきており、客単価は高くないが、良くなっている。
		都市型ホテル（経営者）	・ブライダル関係の申し込みが増加してきた。
		住宅販売会社（経営者）	・住宅展示場への来客数が増加してきた。かつ、住宅購入を具体的に検討している来店客が、多くなっている。
	変わらない	百貨店（売場主任）	・春物衣料の動きが良いという明るい材料もあるが、暖冬の影響による一時的なものであり、基本的には変わっていない。
		百貨店（売場主任）	・一部の高額品と低価格商品が売れることがあるが、中間のボリュームゾーンがほとんど動かず中抜け状態である。
		スナック（経営者）	・女性を中心に消費意欲が出てきていると感じられるが、男性は依然として停滞している。
		旅行代理店（従業員）	・Y2K問題で旅行を延期していた客の需要回復、ミレニアム・ムードの高まりによる受注の上向きを予想していたが、思ったほど伸びていない。
		設計事務所（職員）	・例年と比べ、年度末の忙しさや公共事業の駆け込み需要もなく、悪い状態が続いている。
	やや悪くなっている	スーパー（企画担当）	・低価格セールの実施回数を増やさないと、売上増に結びつかない。
		インテリア専門店（店長）	・客の入店状況は変わらないが、以前よりも単価の低い、利益の取れない商品に偏ってきており、売上が上がらない。
		住宅販売会社（従業員）	・客側に、積極的に住宅購入を検討するという姿勢がなくなってきた。
	悪くなっている	一般レストラン（経営者）	・40歳代の人々のリストラにより、ますます個人消費が減少している。
		タクシー運転手	・タクシーは近距離の利用が多く、長距離がほとんどない状態である。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（従業員）	・受注、発注の状況が、良くなっている。
		広告代理店（従業員）	・広告チラシの製作と折込が多くなった。
		輸送業〔空港貨物〕（従業員）	・国内、国際貨物ともに、このところ取扱量が伸びている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
	変わらない	電気機械器具製造業（経営者）	・新規開発の取引の話が最近多くなっているものの、まだ具体的に成約していないため、変わらないと判断したが、以前より動きが出てきている。
		食料品製造業（経営者）	・明るい話も聞かれるが、倒産などに対する警戒心はまだ強く、良くなっているとはいえない。
		広告代理店（従業員）	・年度末の特殊需要で若干受注増がみられるが、季節的な要因で変わりはない。
	やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	・12月のボーナスもマイナスになっており、客に余分な支出の余裕はなく、必要以外の食料品への支出は抑えられている。
		食料品製造業（従業員）	・今年は特に寒い日が続いたため、人出が悪い。
悪くなっている	-	-	
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・年度末の需要増に加え、これまで取引のなかった業種からの引き合いも増加している。
		人材派遣会社（社員）	・中途採用のニーズが高まっている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・業界別でみると、IT産業と金融関係に関しては動きがあるが、第2次産業については悪い。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人広告はやや回復傾向にあるものの、全体として落ち込みはまだまだ厳しい。
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	

関東

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向関連	良くなっている	百貨店（買付担当）	・2月はファッション傾向が変わり、特に18～29歳の来店客が例年以上に多く、カジュアル衣料を中心に売上が好調である。
	やや良くなっている	百貨店（販売促進担当）	・ミセスカジュアルの婦人衣料の動きが良くなってきている。
		スーパー（店長）	・入店客数が以前に比べやや増加している。衣料品における流行の変化が、買い控えの緩和材料になっている。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅展示場の来場者が増加している。
	変わらない	百貨店（売場主任）	・売れている商品と売っていない商品の差があり、全体の売上の増加につながっていない。
		スーパー（統括）	・客数は増加しているが、客単価、買上点数、店単価は下がっており、この傾向に変化がない。
		乗用車販売店（店員）	・販売台数の伸び悩みから競争が激しく、売上単価の低迷が続いている。
		その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	・落ち込み幅は縮小したが、売上、客数が伸びない状態が続いている。
		その他サービス〔語学学校〕（営業担当）	・来校者数、問い合わせ数とも、3か月前に比べて横ばいとなっている。
	やや悪くなっている	一般小売店〔お茶〕（店長）	・毎月の売上の伸びがない。予想以上に悪い。
		コンビニ（店長）	・小銭での支払が増加している。レジ横の募金箱へ50円以上の硬貨・紙幣が入っていることが、極端に少なくなった。
		一般レストラン（経営者）	・近隣の店が閉店したり、周辺も含め出入客数が極めて少なくなっている。
	悪くなっている	都市型ホテル（スタッフ）	・直近の宴会の利用実績は、人数、売上額、消費単価いずれも落ち込んでおり、ホテル業界はいまだ氷河期である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
企業 動向 関連	良くなっている	非製造業〔情報サービス〕(従業員)	・最近インターネット関連を中心に引き合いが非常に活発で、受注量も急上昇している。
	やや良くなっている	輸送業(統括)	・コンビニ向け食品輸送の取扱量が、増加している。
	変わらない	電気機械器具製造業(経営者)	・スポット的な仕事は出てきたが、継続的な仕事がなく、全般的に仕事の少ない状態が続いている。
		その他製造業〔金属製品〕(総務担当)	・引き続き受注単価が厳しく、依然利益率が低い状態にある。
		非製造業〔物品リース〕(従業員)	・設備投資が増加したという話が聞かれず、売上も伸びていない。
		広告代理店(従業員)	・広告宣伝のための印刷物や顧客の売上についても、大きな変化がない。
	やや悪くなっている	食料品製造業(経営者)	・客単価が低下している。量を買わず、かつ、必要な物以外買わない。
		電気機械器具製造業(経営者)	・売上が減少しており、設備投資も減少してきている。
悪くなっている			
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	・今年は例年以上に、企業からの年度末の派遣要請が増加している。
		求人情報誌製作会社(営業担当)	・広告の出稿が、最近は浅く広く底上げされている。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	・企業が支店の統廃合や業務の首都圏への集中化を図るため、派遣を含め社員の雇用が減っている状況に変化がない。 ・退職社員の補充としての中途社員採用を控え、業務を既存社員で分割担当したり、社内他部署から人を回して、しのいでいる。
	やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕(営業担当)	・製造関連では減産が続き、求人募集も出なくなっている。 ・販売部門では採用意欲はあるが、売上の低迷が採用に影響を与えている。
	悪くなっている	人材派遣会社(社員)	・売場の撤去等リストラが続いている。

東海

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	商店街(代表者)	・進物用を購入した後、自家消費用の商品を買う客が増加している。
		一般小売店〔土産〕(経営者)	・ゆっくり買物をする客が増加している。
		百貨店(企画担当)	・単価は低いが、特にミセス層の客数が増えている。
		家電量販店(経営者)	・昨年と比べて、新築、建て替え、プライダル関連の需要が増えている。
		乗用車販売店(従業員)	・来客者数が増加している。 ・売上等、市場全体の数字が良くなっている。
		高級レストラン(スタッフ)	・来客者数が引き続き回復傾向にある。 ・高級食材を使った料理が良く出ている。
		スナック(経営者)	・前年比で2割程度売上が増加した。 ・来客者数が増加している。
		都市型ホテル(スタッフ)	・客からの問い合わせが増加している等、動きが大きくなってきている。 ・昨年比で、客単価は同じだが客数が増えた。
		テーマパーク(職員)	・客の消費態度が積極的になってきた。
		旅行代理店(従業員)	・企業の海外視察関連の案件が増えてきた。
変わらない	スーパー(店長)	・商品の買い置きをする客がみられない。 ・客単価が低下することはないが、上昇もしない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由	
		コンビニ（エリア担当）	・来客者数は増加傾向にあるが、客単価や売上が増加しない。 ・食品に動きはあるが、全体的には変化がない。	
		乗用車販売店（経営者）	・売上や販売台数は微増しているが、大きな増加にはつなげていない。	
		観光型ホテル（スタッフ）	・宿泊事業、レストラン事業、宴会事業ともに客数は増加しているが、利用単価が低く、売上は前年並みにとどまっている。	
		テーマパーク（職員）	・無料の主催行事は集客しているが、費用のかかる施設の集客が少ない。 ・入場者数は増加しているが、土産物の購入や飲食代が抑えられており、売上が伸びていない。	
		ゴルフ場（経営者）	・来場者数が横ばいである。 ・飲食費を含めた利用単価が伸びない。	
		旅行代理店（従業員）	・国内旅行はまずまずだが、海外旅行が低調である。 ・単価の高いツアー等の売上が伸びていない。	
		住宅販売会社（従業員）	・転居者へ引っ越し業者等のあっせんをしても応じてこず、余計な出費をしない傾向が続いている。	
	やや悪くなっている	百貨店（販売促進担当）	・個人顧客の購買が天候に左右されており、力強さが感じられない。 ・法人需要が依然として厳しい。 ・若者向けでは、一部の商品の売上が増加すると、必ず別の商品の売上が減少している。 ・高齢者の消費が確実に減っている。	
		スーパー（店長）	・低価格を強調したチラシしが集客しない。	
		コンビニ（店長）	・旧札や記念コインで買物をする客を見かけることが増えた。	
		一般レストラン（スタッフ）	・特にサラリーマンの客単価低下が目立つ。	
		悪くなっている	スーパー（店長）	・自社でリストラが始まった。
			コンビニ（店長）	・客の来店頻度や客単価が低下している。
スナック（経営者）	・企業接待が減り、個人での来客も減っている。			
企業動向関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（営業担当）	・業界全体で仕事が、増加しつつある。	
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・折込広告量が、過去最多であった。	
		税理士	・中小、零細事業主の大半が増収・増益となっている。 ・特に、リフォーム関連業種、飲食サービス業が好調である。	
	変わらない	輸送用機械器具製造業（経理担当）	・利益率の高い製品の売上が、伸びていない。	
		輸送業（エリア担当）	・荷動きに変わりはないが、輸出貨物の単価がやや下がっている。	
		司法書士	・積極的な事業展開のための業務依頼が少ない。	
	やや悪くなっている			
悪くなっている	-	-		
雇用関連	良くなっている	求人情報製作会社（編集者）	・対前年比の売上の増加が、3か月前は10%未満だったのに対し、今月は20%台になっている。	
	やや良くなっている	アウトソーシング企業（エリア担当）	・期間工やフリーターの応募率が非常に悪くなっているの で、労働需要が高まっていると思う。	
		求人情報製作会社（編集者）	・求人広告が増加している。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人広告の掲載問い合わせや引き合いが増加している。	
	変わらない			
やや悪くなっている	-	-		

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
	悪くなっている	-	-

近畿

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	百貨店(売場主任)	・今まで買物を控えていた主婦層が、自分自身の洋服のまとめ買いを行っている。
		自動車備品販売店(営業担当)	・売上が前年並みに改善した。
		高級レストラン(店長)	・昼よりも夜の顧客数が増加しており、単価も上昇している。
		都市型ホテル(スタッフ)	・収入は増加していないが、ホテル全体の顧客数が増加している。また、ロビーでの待ち合わせの顧客も増加している。
		旅行代理店(営業担当)	・2月はオフシーズンだが、申込件数が増加している。
	変わらない	百貨店(売場主任)	・売上の前年比マイナスが続いている。
		スーパー(経理担当)	・消費者の買い回り頻度が、高まっていない。
		乗用車販売店(営業担当)	・乗用車は個人の購入は減少しているが、法人(中小企業)の購入は増加しており、全体では変化がない。
		都市型ホテル(スタッフ)	・観光客、ビジネス客とも大幅に落ち込んだままである。
		競輪場(職員)	・車券の購入単価は依然として横ばいで、少額での購入が目立つ。 ・入場者数にも変化がない。
		住宅販売会社(従業員)	・受注傾向は変わらず、顧客は決断を先送りする傾向にある。
		その他住宅[展示場](従業員)	・住宅展示場の来場者動向に変化がない。
	やや悪くなっている	コンビニ(エリア担当)	・3か月前に比べると、既存店の売上が落ち込んでいる。
		その他専門店[薬](経営者)	・売上点数が依然として増加せず、必需品しか売れないため客単価が低下している。
		一般レストラン(スタッフ)	・予約が減少している。
		競輪場(職員)	・1人当たり車券購入額、入場者数の減少により、売上が減少している。
		美容室(従業員)	・価格に関して、厳しい顧客が増加している。
	悪くなっている	商店街(代表者)	・必要な数しか購入せず、買物単価が低下している。
		その他専門店[宝石](経営者)	・広告を出しても、手ごたえが悪く、顧客の消費意欲が欠けている。
スナック(経営者)		・経営する30軒あまりのスナック店舗のうち4軒が閉店となり、活気がない。	
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業(経営者)	・外注先や取引先の表情が少し明るく、受注が上向き傾向にあるなど、動きが若干活発になっている。
		その他製造業[金属製品](経営者)	・荷動きが多少出てきている。
		広告代理店(営業担当)	・不動産や金融などの広告が増加してきているので、年末と比べてかなり良くなっている。
		新聞販売店[広告](店主)	・折込広告が増加した。
		その他企業[ネジ](団体役員)	・出荷額、出荷数量ともに増加している。
変わらない	その他製造業[紙加工品](経営者)	・引き続き小ロット、短納期の受注が多い。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		輸送業（営業所長）	・扱ひ荷物の個数が、3か月前と比べて、ほとんど変わらない。
		司法書士	・顧客の話や相談内容から、それなりに一定の状態を保っているように思われる。
	やや悪くなっている	繊維工業（経営者）	・信用不安がぬぐいきれないため、取引先を分散する動きが今月もあり、売上が伸びない状況が続いている。
		経営コンサルタント	・情報通信関連などでは受注が増加しているところもあるが、小売業では来店客数や手形が減少しているところもあり、ばらつきがある。
悪くなっている	その他企業〔タオル〕（団体職員）	・出荷数量、受注数量、ともに大幅に減少している。	
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	・企業からの派遣依頼が増加しており、依頼企業の業種も多岐にわたっている。
		人材派遣会社（社員）	・スタッフの登録者数は、若い人を中心に減少傾向がみられる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・企業からの掲載希望の件数がかなり増えている。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・受注量が一進一退で推移しており、3か月前と変わらない。
	やや悪くなっている	アウトソーシング企業（経理担当）	・得意先の多くは中小企業であり、少額であっても、支払の遅れや分割支払の申入れが目立つ。
悪くなっている	-	-	

九州

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	商店街（代表者）	・売上が前年と比べて良くなった。 ・高額商品も動き出した。
		百貨店（販売促進担当）	・店頭での顧客の動きが活発で好調である。
		百貨店（営業担当）	・各部門の売上、来店客数が前年を越えてきている。
		スーパー（店長）	・全体的な売上が、少しずつではあるが上昇傾向にある。健康や安全を意識した商品が好調である。
		スーパー（店長）	・パレタインデーは来店客数が多く明るいムードであった。
		コンビニ（店長）	・顧客の動向をみると、遠方に出掛ける人が増えてきているようだ。
		乗用車販売店（従業員）	・若干ではあるが来店客数が増えてきた。
		旅行代理店（従業員）	・航空会社の片道1万円のパーゲン運賃で、来店者が増えた。
		旅行代理店（従業員）	・格安旅行の商品が売れ出した。
		タクシー運転手	・プロ野球やプロサッカー等のキャンプの影響で、人出があった。
		美容室（経営者）	・給料日以降の客数が増えてきた。
	変わらない	商店街（代表者）	・盛り場などの人の動きが鈍い。
		商店街（代表者）	・安い店やパーゲン等の安いときに買う傾向がみられる。
		商店街（代表者）	・パーゲン等で客数は増えたが、単品買いが多くまとめ買いが少ない。
		百貨店（営業担当）	・商品によって売上の伸びが違う。必要な物だけ買う。売上に占めるパーゲン商品の比率が高い。
		コンビニ（店長）	・うろう年で稼働日数が多く数字は伸びているが、状況は変わらない。
		インテリア専門店（従業員）	・寒さが続いたため客足が良くなかった。
		高級レストラン（スタッフ）	・宴会の予算額は低下しているものの、来店客数は増えている。
ゴルフ場（支配人）		・ゴルフ場の入場者数は、相変わらず低迷を続けている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		住宅販売会社(従業員)	・3か月前と住宅の受注棟数が、変わっていない。
		住宅販売会社(従業員)	・住宅公庫の受付の状況が変わらない。申し込みの出足が鈍い。
	やや悪くなっている	商店街(代表者)	・天候不順で客足が悪く、売れ筋商品も薄く、売上ダウン。
		一般小売店[精肉](経営者)	・購入額が少なく、買物頻度が減少している。
		衣料品専門店(総務担当)	・店頭での1顧客に対する販売接客時間が長い。レジの回転数が、やや悪化しつつある。
		家電量販店(店長)	・売出をしても必要最低限の物だけで、衝動買いがみられない。 ・商品単価の低下で数量の伸びがない。
		家電量販店(店員)	・例年、購入商品の配達エリアの問い合わせがあるが、今年は極端に少ない。
		一般レストラン(スタッフ)	・夜の交通量が少なく、入店客が少ない。客単価が安い。
		パチンコ店(従業員)	・年末と比較すると、イベントもなくなり出費も減った。
		タクシー運転手	・夜の繁華街は閑散とし、客待ちのタクシーが街を囲んでいる。
	悪くなっている	住宅販売会社(従業員)	・住宅展示場への来場者が減少している。
		スナック(経営者)	・毎年2月は寒さの影響で客が減る。今年はインフルエンザも影響しているのではないか。
	企業動向関連	良くなっている	電気機械器具製造業(経営者)
輸送用機械器具製造業(営業担当)			・輸出、国内ともに受注が増えてきた。
やや良くなっている		その他製造業[窯業土石製品](経営者)	・公共事業の発注が増加している。
		食料品製造業(経営者)	・顧客数は伸びたが、客単価が若干下がっている。
変わらない		輸送用機械器具製造業(経営者)	・仕事の受注はあるが、金額的には非常に厳しい。
		電気機械器具製造業(経営者)	・売上高や受注残高などに変化がない。
		輸送業(従業員)	・プラス要因、マイナス要因が五分五分で景気は変わらない。
やや悪くなっている		農林水産業(経営者)	・3月決算を控え納品数量の減少や値下げ依頼が多い。
		輸送業[陸上貨物](従業員)	・得意先からトラック運賃の値下げの話が来た。
		輸送業[倉庫](従業員)	・今月は商品の荷動きが悪い。
		経営コンサルタント	・会社再建の相談が増えている。司法書士の仕事が減少している。
悪くなっている		食料品製造業(経営者)	・月ごとに売上が悪化する傾向にある。
雇用関連		良くなっている	-
	人材派遣会社(社員)		・雇用を増やすという考えが、徐々に増えてきている。
	やや良くなっている	新聞社[求人広告](担当者)	・業種の偏りはあるが、広告件数は増加している。
		新聞社[求人広告](担当者)	・求人件数が明らかに増加している。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	・企業内教育研修の予算取りを含め、3か月前と比べて芳しくない。
		求人情報誌製作会社(総務担当)	・企業の新卒採用が減っている。 ・景気のパロメーターになる中途採用は先月若干増加したが、今月は横ばいである。
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

2. 景気の先行きに対する判断

2～3か月先の景気の先行きに対する判断は、以下のとおりであった。

(1) 全国の動向

分野別の景気の先行き判断D I

図表2-1-1 各分野における景気の先行き判断D Iの推移表

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
合計	51.1	54.6				
家計動向関連	49.4	53.2				
小売関連	49.7	52.7				
飲食関連	45.8	53.1				
サービス関連	50.9	54.0				
企業動向関連	52.3	55.8				
雇用関連	61.9	62.8				

(備考) 1. 全国のD Iについては、1月は関東を除く5地域の合計、2月は6地域の合計である。

2. 5地域の合計による2月のD Iは、合計54.8、家計動向関連53.7、小売関連53.1、飲食関連52.2、サービス関連55.0、企業動向関連55.4、雇用関連62.5である。

(2) 各地域の動向

地域別の景気の先行き判断D I (各分野計)

図表2-2-1 各地域における景気の先行き判断D Iの推移表 (各分野計)

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	51.1	54.6				
北海道	49.0	53.5				
東北	51.6	56.0				
関東		53.5				
東海	54.5	54.1				
近畿	51.1	54.7				
九州	49.2	55.5				

地域別の景気の先行き判断D I (家計動向関連)

図表2-2-2 各地域における景気の先行き判断D Iの推移表 (家計動向関連)

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	49.4	53.2				
北海道	46.2	51.1				
東北	50.4	53.4				
関東		51.1				
東海	53.4	53.5				
近畿	48.8	53.8				
九州	48.2	56.5				

(3) 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめる以下のとおりであった。

北海道

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	百貨店(売場主任)	・今春、公立大学、総合病院が新たにできるので、商圈への転入者が増加すると思う。
		百貨店(売場主任)	・黒札商品の動きが良くなっており、買い控え傾向の底がそろそろみえてきた。
		百貨店(売場主任)	・先行き不安から抑えられていた購買意欲が、春の訪れとともに緩んでくる。
		家電量販店(店長)	・客数が増加しており、独身者の需要も上向きである。 ・高額商品の売行きが良い。
		高級レストラン(スタッフ)	・少しずつ客数や会合が増加してきている。
		一般レストラン(スタッフ)	・3月の雪解けとともに、外出機会も多くなり、期待が持てる。
		旅行代理店(従業員)	・申込人数が良くなっている。
	変わらない	百貨店(売場主任)	・春物商品の一部に動きがあるが、大きな動きにはなっていない。
		スーパー(企画担当)	・公共投資が一巡したので、これからは厳しい。良くて横ばいだと思う。
		スーパー(店長)	・春物衣料や、新入学、就職関連のマーケットがあるが、客はあまり乗ってこないだろう。
		スーパー(店長)	・消費者所得の減少、将来的な雇用不安が、消費抑制の要因であろう。
		家電量販店(店長)	・現金、クレジット販売ともに、変わらない状況が続くと思う。
		家電量販店(店員)	・3月は新入学期なので、2月よりは良くなる。ただ、パソコンの売行きが伸びるにつれ、テレビや冷蔵庫の売行きが伸び悩む。
		スナック(経営者)	・良くなる見通しが立たない。
		タクシー運転手	・固定客の利用回数の減少が続いており、当分今の状態が続く。
		住宅販売会社(従業員)	・一時的には多少の動きがあるが、根本的には変わらないと思う。
	やや悪くなっている	商店街(代表者)	・新しい商品に対する需要が弱い。
		タクシー運転手	・今までなかなか良くなかなかつたので、これから2、3か月で急に良くなるとは思えない。
		悪くなっている	一般レストラン(スタッフ)
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業(経営者)	・冬が厳しかったこともあり、春先需要が期待できそうな雰囲気がある。
		非製造業[建設機械リース](支店長)	・新年度に入ると、設備投資意欲がやや高まってくると思う。
	変わらない	非製造業[建設機械リース](営業担当)	・設備投資の話も出てきてはいるが、実際は前年並みである。
		輸送業(総務担当)	・好転する材料がない。ただ、悪くなる材料も聞かない。
	やや悪くなっている	輸送業(支店長)	・農産物と主要貨物に回復の目途が立たない。
悪くなっている	-	-	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
雇用 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・2月は商売の端境期であるにもかかわらず、広告求人数が若干増加した。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・求人が堅調な業種もあるが、北海道の中核産業である建設業の求人の伸びが下火になってきている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・小売、サービス業の求人の伸びがあまりみられず、建設業の動きも活発化していない。ただし、コンビニ、通信機器販売業では求人の動きがある。
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	

東北

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなっている	家電量販店（総務担当）	・パソコン等の情報機器関連が先月と同様に好調に推移しており、これからの春の商戦にも期待が持てる。	
	やや良くなっている	百貨店（売場主任）	・春物衣料の販売が前倒しになるなど、ファッション関係の動きが活発になっている。	
		衣料品専門店（店長）	・最近、買い控えの傾向の強かった礼服が売れるようになってきている。	
		高級レストラン（スタッフ）	・企業の経費削減の動きが強いなか、わずかながら法人需要が良くなっている。	
		観光型ホテル（経営者）	・客の予約状況は、問い合わせ回数も増え、規模の大きい団体客や、関東のみならず関西方面からの客も多くなりつつある。	
		テーマパーク（職員）	・客の問い合わせや予約の件数も多くなっており、多少良くなるのではないかと考えられる。	
		旅行代理店（従業員）	・ゴールデンウィークの海外旅行予約状況など、個人需要を中心に販売は弱含みながら上向きに推移している。	
		変わらない	百貨店（企画担当）	・大型倒産やリストラなどが依然として続いているなか、消費者の心理としては生活防衛としての買い控えが続く。
	百貨店（広報担当）		・雇用、所得、先行き等に対する不安がふっしょくされない限り、消費の回復にはつながらない。	
	スーパー（経営者）		・売上が相変わらず低迷している。	
	乗用車販売店（従業員）		・乗用車に関しては急激な売上増は考えられず、このまま横ばい状態が半年ほど続くと思われる。	
	スナック（経営者）		・依然としてリストラなどの不安が客にはあるが、一方で仕事の量が増えてきているという話もあり、基本的には現在と変わらない。	
	やや悪くなっている		スーパー（企画担当）	・中堅スーパーの倒産が、スーパー業界に与えた心理的影響が大きい。
		コンビニ（エリア担当）	・客単価が下落傾向にあり、2～3か月後は今よりも若干悪化していると思われる。	
		観光型ホテル（経営者）	・一般的に、将来的な不安要素が強まっており、今後さらに消費を抑えこむ傾向が強まると考えられる。	
		旅行代理店（従業員）	・企業側に年度末をどう乗り切るかという不安が増しているためか、2～3か月先の予約もあまり多くなっていない。	
	悪くなっている	商店街（代表者）	・企業の決算内容次第では、一層の経費削減も必至であると考えられ、飲食業界への影響が懸念される。	
		タクシー運転手	・乗客の話では給与が半分になりボーナスがないかもしれないとのことで、大変な状況である。	
	企業 動向 関連	良くなっている	-	-
		やや良くなっている	電気機械器具製造業（従業員）	・募集広告を出しても人が集まりにくくなっており、他企業の採用も活発になっている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		電気機械器具製造業(経営者)	・主に設備機器関係の生産が良くなってきており、4月以降の製品受注に関する動きが出てきている。
		広告代理店(従業員)	・新規出店に関する広告が増えてきている。
		輸送業[空港貨物](従業員)	・航空貨物の取扱量が増加傾向にある。
	変わらない	電気機械器具製造業(従業員)	・新年度に向けての目新しい政策が特にないため、今と変わらないと思う。
		広告代理店(従業員)	・年度末の需要増とその反動以外に大きな要素が見受けられない。
	やや悪くなっている		
悪くなっている	-	-	
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	・2~3か月先くらいから、という商談が増えてきている。
		人材派遣会社(社員)	・採用の件で訪れる客からは、リストラの話ではなく、前向きな事業計画の相談が増えている。
		新聞社[求人広告](担当者)	・ここ1~2か月の求人広告に関する数字は、前年実績から2ケタの伸びを示している。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	・依然企業の採用抑制の動きが感じられ、好転しないと思われる。
		人材派遣会社(社員)	・取引先は良い会社と悪い会社で格差があり、二極化している。
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

関東

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	良くなっている		
	やや良くなっている	百貨店(売場主任)	・サンダル、サングラス等の春夏物のシーズン商品が、例年以上に売れており、3月以降の購買につながる。
		スーパー(店長)	・商品単価は上がらないが、買上点数は増加している。
		スナック(経営者)	・今の景気の状態がおそらく最悪で、今後もう少し良くなると考えている。地元の高校が甲子園に出場するので、来店客数の増加を期待している。
		旅行代理店(従業員)	・店頭での客の来店数や電話の数が増えた。ゴールデンウィークに向けて客が動く気配を感じる。
	変わらない	百貨店(買付担当)	・1、2月は好調であったが、2~3か月後さらに良くなる見込みがなく、価格面での客の厳しい傾向が続く。
		スーパー(店長)	・先行き不安感を感じている客が多く、価格に対しても、品質にも神経を使っている。 ・客単価は低下しているが、客数は回復している。
		一般レストラン(経営者)	・午後6時以降降人通りが少なく、客があまりお金を使わない。昼食も、500~600円で済まず状況に変化がない。
		タクシー運転手	・良い面と悪い面が同居している感じで、今後も変わらない。
	やや悪くなっている	都市型ホテル(スタッフ)	・利用者はサービスの質よりも価格を重視し、安価な料金を求める傾向にある。
		その他サービス[学習塾](経営者)	・値下げ競争に拍車がかかっており、実質的な売上増にはつながらない。
	悪くなっている	都市型ホテル(スタッフ)	・直営ホテルの婚礼の予約状況は減少傾向にあり、個人消費全体も全く回復しているとはいえない。
美容室(経営者)		・会社を辞めさせられたり、無職の客がかなりいる。	
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業(経営者)	・来年度の見積りや新規開発計画の問い合わせが、かなり出てきている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	変わらない	広告代理店(従業員)	・中小のスーパーや小売業者の広告宣伝の仕事が増加してきている。
		電気機械器具製造業(経営者)	・ビルや工場などの建設が進まず、空調機器関連の商品が売れない状況が続いており、2～3か月後に景気が良くなるとは考えられない。
		その他製造業[プラスチック製品](経営者)	・景気が良くなっているのは一部の業種であり、全体的にはしばらくは良くならない。
		非製造業[物品リース](従業員)	・積極的に新しい店舗を出すというより、既存店舗の設備を更新するという形の設備投資になっている。
	やや悪くなっている	電気機械器具製造業(経営者)	・需要減により競争が激化する。 ・設備投資が減少している。
	悪くなっている	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	・企業の求人数が増加している。逆に派遣スタッフの募集を出しても、応募者がなかなか来ない。
		求人情報誌制作会社(営業担当)	・広告出稿のジャンルが、広がつつある。
		求人情報誌制作会社(編集者)	・夏、秋以降の採用についての相談が、多く出始めている。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	・新卒採用に関して、昨年より人数を抑える企業が多い。一方、先行投資として将来性を見込める事業分野への採用は、最小限に行うところもある。全体的には悪い状況のまま変わらない。
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

東海

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	良くなっている	都市型ホテル(スタッフ)	・予約数が増加している。
	やや良くなっている	一般小売店(経営者)	・消費者の財布のひもがやや緩んだ感じがする。
		コンビニ(エリア担当)	・情報関連商品が起爆剤となって、売上増に寄与する。
		乗用車販売店(従業員)	・売上や販売台数が上向きつつある。
		高級レストラン(スタッフ)	・歓送迎会の予約が例年よりも多い。 ・インターネットを利用した予約が増加している。
		一般レストラン(スタッフ)	・繁華街にある店舗の売上が、やや上向きつつある。
		観光型ホテル(スタッフ)	・宿泊・宴会・婚礼の予約が前年度比5%程度の増加で、利用単価も低下していない。
		旅行代理店(従業員)	・これまで費用削減を行ってきた企業の需要が増加してきている。 ・海外出張用の航空券予約は最高でもビジネスクラスという状況が続いていたが、最近はファーストクラスが売れている。
		その他サービス[パチンコ機器製造販売](エリア担当)	・先日開催されたパチンコ機器製造業界の展示会では、来場者数が過去最高だった。
	変わらない	商店街(代表者)	・客単価の著しい増加がない。
一般小売店[生花](経営者)		・客単価の著しい増加がない。	
百貨店(販売促進担当・企画担当)		・所得の伸びがなく、必要な物しか買わない傾向が続く。 ・日々の売上変動が激しく安定しない傾向が続く。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	<ul style="list-style-type: none"> 客単価は依然として低い反面、消費者の買い回り態度には少し余裕もみられるようになってきた。 消費者に所得減少や雇用への不安が根強くみられ、高額商品の購入など売上の大幅増加にはなかなか結びつかない。
		コンビニ（エリア担当）	<ul style="list-style-type: none"> 消費者が衝動買いをしない傾向は依然続く。 都市部ではやや改善の報告もあるが、都市部以外では状況は変わっていない。
		乗用車販売店（従業員）	<ul style="list-style-type: none"> 必要に迫られないと乗用車を購入しない人の割合が、依然として高い。 売上に勢いが無い。
		高級レストラン（スタッフ）	<ul style="list-style-type: none"> 2～3か月先の予約状況が、例年並みである。
		スナック（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> 明るい景気見通しを持つ客が、増えていない。
		テーマパーク（職員）	<ul style="list-style-type: none"> 2～3か月先の予約状況が、例年並みである。 客の消費意欲は感じられるが、本格的な景気の好転までは見込めない。
		旅行代理店（従業員）	<ul style="list-style-type: none"> 予約件数は増加が見込まれるが、近場の旅行で済ます客が多く、売上に変化はない。
		住宅販売会社（従業員）	<ul style="list-style-type: none"> 低金利が長く続いており、当面上昇する気配もないため、現時点で住宅を購入しようという意欲は一巡している。
		やや悪くなっている	スーパー（店長）
	悪くなっている		
企業動向 関連	良くなっている	電気機械器具製造業（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> 放送技術の革新が、市場の起爆剤になると思う。
	やや良くなっている	輸送業（エリア担当）	<ul style="list-style-type: none"> インターネットを通じた貨物取扱量が増加している。
	変わらない	輸送業（エリア担当）	<ul style="list-style-type: none"> 数か月先の入庫、出庫予定に変化がない。
	やや悪くなっている	その他製造業 [プラスチック製品]（従業員）	<ul style="list-style-type: none"> 3月以降は大手企業が生産調整を行い、仕事量が減少する。
	悪くなっている	-	-
雇用動向 関連	良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	<ul style="list-style-type: none"> 対前年比の売上が、週を追うごとに伸びている。
	やや良くなっている	新聞社 [求人広告]（担当者）	<ul style="list-style-type: none"> 求人数が増加している。 JRセントラルタワーズの本格稼働等への期待感がある。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	<ul style="list-style-type: none"> 派遣社員の契約更新では、賃金の据え置きが目立つ。 情報関連産業の一部を除き、特に動きがない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	<ul style="list-style-type: none"> 中途採用の求人が、現在必要な人材の補充にとどまっている。
	やや悪くなっている		
	悪くなっている		

近畿

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	スーパー（経理担当）	<ul style="list-style-type: none"> 単価の回復はみられないが、客数が伸びている。
		家電量販店（店員）	<ul style="list-style-type: none"> 新製品が出回り、売上が増加する。
		都市型ホテル（スタッフ）	<ul style="list-style-type: none"> 淡路花博等があるため、宿泊予約が順調で、周りも明るい。
		住宅販売会社（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> 依然、収入の安定している公務員が目立つが、受注は少しずつ上向いてきている。
変わらない	百貨店（売場主任）	<ul style="list-style-type: none"> 百貨店でモリストラの方向は続いている。買物客が増加したというものの、依然として富裕層が多い。 	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店(売場主任)	・春物の動きはミセス、ヤングともに順調である。しかし、今後、気温の変化によって売上が上下すると思われる。
		その他専門店[薬](経営者)	・チラシ商品しか売れない状況に変わりはない。
		タクシー運転手	・利用客数が増加していない。
		住宅販売会社(従業員)	・受注量に変化せず、顧客は決断を先に延ばしている。
	やや悪くなっている	商店街(代表者)	・顧客から以前よりも悪化していると聞く。
		その他専門店[宝石](経営者)	・顧客の声を聞くと、リストラを含めての不安感が、すぐに解消されるような状況ではない。
		自動車備品販売店(営業担当)	・銀行は3月末までは融資に積極的だが、4月に入ると借入金等の締め付けがあり、投資ができなくなりそうである。
		競輪場(職員)	・売上が減少している。
	悪くなっている	コンビニ(経営者)	・企業がリストラを進め、消費は悪化する。
		スナック(経営者)	・顧客から、良い話が全く聞けない。
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	その他製造業[金属製品](経営者)	・荷動きが改善する。
		広告代理店(従業員)	・在阪四局のCM枠は一杯の状況であり、パブル期に匹敵するほどである。申し込みの業種も偏っていない。
	変わらない	繊維工業(経営者)	・原材料(特に絹糸)の価格が上昇している。流通での在庫が品薄であるという前向きな報告があるものの、一進一退の状態が続く。
		一般機械器具製造業(経営者)	・売上の伸びが全くみられない。
		電気機械器具製造業(経営者)	・IT産業が比較的良好だが、コストダウン競争が激しく、忙しいわりにはもうからない。
	やや悪くなっている	その他製造業[紙加工品](経営者)	・Y2K問題による仮需の在庫調整が済み、販売量は増加に転じるものの、ユーザーの要望による価格の低下が予想されることから、若干収益を落とすと考えられる。
		その他企業[自転車製造卸](団体職員)	・企業の収益性が低下しており、設備投資や雇用の増加がみられない。
	悪くなっている	その他企業[タオル](団体職員)	・個人、法人ともに需要の回復が感じられない。
	雇用関連	良くなっている	求人情報誌製作会社(編集者)
やや良くなっている		人材派遣会社(経営者)	・企業担当者から、不況あるいは不景気という言葉が聞くことが少なくなっている。
		人材派遣会社(社員)	・4月に新社員の入社が予定されているにもかかわらず、前倒しの発注がある。
変わらない		人材派遣会社(経営者)	・4月以降の受注見通しが全く立っていない。
やや悪くなっている		アウトソーシング企業(経理担当)	・物流関係の受注増が期待できる時期であるが、大手企業が底辺の受注を集める状態が続く限り、景気上昇の見込みがない。
悪くなっている		-	-

九州

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	商店街(代表者)	・春物衣料の季節到来と小旅行等の人の動きに期待する。
		商店街(代表者)	・ブランド品の一極集中がなくなりつつあり、幅広く商品を選択するようになってきた。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		百貨店(販売促進担当)	・ミセスの顧客の店頭での動向が極めて活発になり、商品の動きも上昇傾向。トレンドの変化がマーケットに刺激を与え、消費が徐々に回復傾向にある予感がする。	
		スーパー(店長)	・若者中心の商品の動きが良かった。 ・学童用品の単価も昨年より上昇している。	
		スーパー(店長)	・行楽等の需要が高まり、今まで悪かった反動で良くなるだろう。	
		インテリア専門店(従業員)	・気候が良くなるとともに客足も良くなるだろうと思う。	
		旅行代理店(従業員)	・ゴールデンウィークの海外旅行商品の問い合わせが続いている。	
		タクシー運転手	・人事異動や卒業入学等で人の動きがあるので、今より良くなるのではないが。	
		住宅販売会社(従業員)	・進学や転勤等で費用がかかるため、改善する余地はある。	
	変わらない	商店街(代表者)	・企業のリストラ等により、顧客個人の収入減は避けられない。	
		百貨店(営業担当)	・現在の売上は、バーゲンと天候に支えられている。今後続くかは不明である。	
		スーパー(店長)	・購買意欲が感じられない。必要な物しか買わない傾向が今後とも続く。	
		家電量販店(店員)	・BSデジタル放送やパソコンなど明るい材料はあるが、マイナスを埋めるのが精一杯だろう。	
		高級レストラン(スタッフ)	・観光イベント等で観光客の増加を期待しているが、予約状況は良くない。	
		都市型ホテル(スタッフ)	・連休の予約やその他の予約の発生が遅く、見当がつきにくい。	
		ゴルフ場(支配人)	・会員の来場回数も減少傾向で、今の状況が急変するとは考えられない。	
		住宅販売会社(従業員)	・アンケート調査では1年以内に住宅を計画する人が少なく、建築自体が具体化していないという回答者が多い。	
	やや悪くなっている	家電量販店(店長)	・パート募集で新卒の応募が多い。 ・客から子供の就職が決まらない等の声を聞く。	
		一般レストラン(スタッフ)	・周辺の店に来る車の数が減少している。	
	悪くなっている	-	-	
	企業動向関連	良くなっている	電気機械器具製造業(経営者)	・現在の状況が2～3か月は続くであろう。
		やや良くなっている	農林水産業(経営者)	・加工メーカーは在庫を持たない考えだが、4、5月は生産期で期待ができる。
輸送用機械器具製造業(経営者)			・依然単価としては厳しいが、受注量が増加している。原材料の入手が一部ではあるが困難になってきた。	
変わらない		一般機械器具製造業(経営者)	・景気は底入れしているようだが、仕事の波が激しい。	
		輸送用機械器具製造業(経営者)	・受注はあるが、金額的には非常に厳しい。	
		広告代理店(従業員)	・景気が良くなると新聞の折込チラシが増加するが、そうした兆しがみえない。	
経営コンサルタント		・業務拡大の相談より、リストラに関する相談が多い。		
やや悪くなっている		食料品製造業(経営者)	・4月から航空運賃の団体割引が廃止され、観光客向け商品販売の減少が見込まれる。	
		その他製造業[窯業土石製品](経営者)	・公共事業に頼った受注なので、終了後は仕事の発注もなくなるのではないが。	
		輸送業[陸上貨物](従業員)	・力を入れていなかった営業に社長が力を入れ出したが、それでもさえない。	
悪くなっている	-	-		
雇用関連	良くなっている	-	-	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・顧客である企業からの問い合わせの中で、サービス等の徹底を行う社内教育にかなり金額をかけている気がする。
		人材派遣会社（社員）	・求人も増え、採用を抑えていた会社も採用を始めた。
	変わらない	求人情報誌製作会社（総務担当）	・中途採用人数が横ばい。採用を行う会社と行わない会社の二極化がみられる。
		新聞社[求人広告]（担当者）	・求人がIT関連の業種に偏っている。
		新聞社[求人広告]（担当者）	・3月決算期の企業が多いため、4月以降の景気の見通しははっきりしない。
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	

(参考) 現在の景気水準に対する判断

現在の景気の水準自体に対する判断は、以下のとおりであった(注)。

図表 - 参考 - 1 各分野における景気の現状水準判断D Iの推移表

(D1)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
合計	32.0	37.0				
家計動向関連	29.7	34.9				
小売関連	29.2	37.0				
飲食関連	28.6	31.1				
サービス関連	31.1	33.5				
企業動向関連	33.6	39.1				
雇用関連	47.0	50.5				

(備考) 1. 全国のD Iについては、1月は関東を除く5地域の合計、2月は6地域の合計である。

2. 5地域の合計による2月のD Iは、合計37.8、家計動向関連35.8、小売関連37.1、飲食関連32.8、サービス関連36.0、企業動向関連38.3、雇用関連53.0である。

図表 - 参考 - 2 各地域における景気の現状水準判断D Iの推移表(各分野計)

(D1)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	32.0	37.0				
北海道	31.5	36.6				
東北	26.6	36.5				
関東		33.1				
東海	40.8	41.8				
近畿	27.2	33.6				
九州	33.2	40.4				

(注) 景気の現状をとらえるには、景気の方角性に加えて、景気の水準自体について把握することも必要と考えられることから、参考までに掲載するものである。

景気ウォッチャー（調査客体）の地域別・分野別構成

	北海道		東北		関東		東海	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
合計	100	100.0%	100	100.0%	100	100.0%	100	100.0%
家計動向関連	72	72.0%	73	73.0%	70	70.0%	73	73.0%
小売関連	36	36.0%	35	35.0%	25	25.0%	35	35.0%
商店街代表者	5	5.0%	4	4.0%	1	1.0%	1	1.0%
一般小売店経営者・店員	1	1.0%	2	2.0%	2	2.0%	5	5.0%
百貨店売場主任・担当者	5	5.0%	7	7.0%	6	6.0%	5	5.0%
スーパー店長・店員	5	5.0%	6	6.0%	5	5.0%	6	6.0%
コンビニエリア担当・店長	5	5.0%	4	4.0%	4	4.0%	6	6.0%
衣料品専門店経営者・店員	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	0	0.0%
インテリア専門店経営者・店員	0	0.0%	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
家電量販店経営者・店員	5	5.0%	2	2.0%	2	2.0%	3	3.0%
その他専門店経営者・店員	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	3	3.0%
乗用車・自動車備品販売店経営者・店員	7	7.0%	4	4.0%	3	3.0%	6	6.0%
卸売業従事者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他小売の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
飲食関連	12	12.0%	11	11.0%	13	13.0%	9	9.0%
高級レストラン経営者・スタッフ	5	5.0%	3	3.0%	2	2.0%	2	2.0%
一般レストラン経営者・スタッフ	2	2.0%	4	4.0%	6	6.0%	3	3.0%
スナック経営者	4	4.0%	3	3.0%	5	5.0%	4	4.0%
その他飲食の動向を把握できる者	1	1.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
サービス関連	20	20.0%	22	22.0%	29	29.0%	24	24.0%
観光型ホテル・旅館経営者・スタッフ	1	1.0%	5	5.0%	0	0.0%	1	1.0%
都市型ホテル・旅館経営者・スタッフ	0	0.0%	4	4.0%	4	4.0%	3	3.0%
観光名所、遊園地、テーマパーク職員	1	1.0%	3	3.0%	0	0.0%	6	6.0%
ゴルフ場経営者・従業員	0	0.0%	0	0.0%	3	3.0%	1	1.0%
パチンコ店経営者・従業員	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%
競輪・競馬・競艇場職員	0	0.0%	3	3.0%	2	2.0%	0	0.0%
その他レジャー施設職員	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%	0	0.0%
旅行代理店経営者・従業員	5	5.0%	2	2.0%	4	4.0%	3	3.0%
タクシー運転手	7	7.0%	3	3.0%	6	6.0%	3	3.0%
美容室経営者・従業員	5	5.0%	2	2.0%	2	2.0%	3	3.0%
ガソリンスタンド従業員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%
その他サービス等の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	6	6.0%	1	1.0%
住宅関連	4	4.0%	5	5.0%	3	3.0%	5	5.0%
設計事務所所長・職員	1	1.0%	2	2.0%	1	1.0%	2	2.0%
住宅販売会社経営者・従業員	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	3	3.0%
その他住宅投資の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
企業動向関連	19	19.0%	19	19.0%	23	23.0%	19	19.0%
地域の産業構造上特色ある企業経営者・従業員	10	10.0%	10	10.0%	17	17.0%	5	5.0%
農林水産業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
食料品製造業	3	3.0%	6	6.0%	2	2.0%	1	1.0%
繊維工業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
家具及び木材木製品製造業	1	1.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
一般機械器具製造業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
電気機械器具製造業（精密機械も含む）	0	0.0%	3	3.0%	5	5.0%	1	1.0%
輸送用機械器具製造業	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	2	2.0%
その他製造業	1	1.0%	0	0.0%	4	4.0%	1	1.0%
非製造業	5	5.0%	0	0.0%	5	5.0%	0	0.0%
広告代理店従業員・新聞販売店[広告]店主	1	1.0%	4	4.0%	3	3.0%	4	4.0%
輸送業関係者	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	6	6.0%
司法書士・経営コンサルタント・会計事務所職	3	3.0%	2	2.0%	1	1.0%	4	4.0%
コピーサービス業店員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他企業の動向を把握できる者	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
雇用関連	9	9.0%	8	8.0%	7	7.0%	8	8.0%
人材派遣会社社員・アウトソーシング企業社員	2	2.0%	6	6.0%	3	3.0%	3	3.0%
求人情報誌製作会社編集者	4	4.0%	0	0.0%	2	2.0%	3	3.0%
新聞社[求人広告]担当者	3	3.0%	2	2.0%	2	2.0%	2	2.0%
その他雇用の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

(単位：人 / %)

近畿		九州		全国合計	
100	100.0%	100	100.0%	600	100.0%
68	68.0%	72	72.0%	428	71.3%
32	32.0%	35	35.0%	198	33.0%
7	7.0%	10	10.0%	28	4.7%
0	0.0%	3	3.0%	13	2.2%
4	4.0%	4	4.0%	31	5.2%
4	4.0%	6	6.0%	32	5.3%
3	3.0%	4	4.0%	26	4.3%
2	2.0%	2	2.0%	12	2.0%
1	1.0%	1	1.0%	4	0.7%
2	2.0%	3	3.0%	17	2.8%
5	5.0%	0	0.0%	9	1.5%
3	3.0%	1	1.0%	24	4.0%
1	1.0%	0	0.0%	1	0.2%
0	0.0%	1	1.0%	1	0.2%
8	8.0%	8	8.0%	61	10.2%
2	2.0%	2	2.0%	16	2.7%
4	4.0%	3	3.0%	22	3.7%
2	2.0%	3	3.0%	21	3.5%
0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
23	23.0%	23	23.0%	141	23.5%
2	2.0%	2	2.0%	11	1.8%
3	3.0%	1	1.0%	15	2.5%
3	3.0%	0	0.0%	13	2.2%
1	1.0%	3	3.0%	8	1.3%
0	0.0%	5	5.0%	8	1.3%
3	3.0%	2	2.0%	10	1.7%
1	1.0%	0	0.0%	3	0.5%
2	2.0%	2	2.0%	18	3.0%
3	3.0%	6	6.0%	28	4.7%
4	4.0%	2	2.0%	18	3.0%
1	1.0%	0	0.0%	2	0.3%
0	0.0%	0	0.0%	7	1.2%
5	5.0%	6	6.0%	28	4.7%
1	1.0%	2	2.0%	9	1.5%
2	2.0%	4	4.0%	17	2.8%
2	2.0%	0	0.0%	2	0.3%
23	23.0%	20	20.0%	123	20.5%
11	11.0%	13	13.0%	66	11.0%
0	0.0%	1	1.0%	1	0.2%
0	0.0%	3	3.0%	15	2.5%
2	2.0%	0	0.0%	2	0.3%
0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
3	3.0%	1	1.0%	4	0.7%
3	3.0%	4	4.0%	16	2.7%
0	0.0%	3	3.0%	6	1.0%
2	2.0%	1	1.0%	9	1.5%
1	1.0%	0	0.0%	11	1.8%
3	3.0%	3	3.0%	18	3.0%
2	2.0%	3	3.0%	19	3.2%
3	3.0%	1	1.0%	14	2.3%
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4	4.0%	0	0.0%	6	1.0%
9	9.0%	8	8.0%	49	8.2%
5	5.0%	3	3.0%	22	3.7%
2	2.0%	2	2.0%	13	2.2%
1	1.0%	3	3.0%	13	2.2%
1	1.0%	0	0.0%	1	0.2%